

船橋市教育委員会公教育長賞

無題

船橋市立習志野台中学校

第三学年 渡部 葵衣

「涼しい。」

体育館に入った瞬間、気持ちの良い風が吹き抜けました。昨年、私たちの学校の体育館にエアコンが設置されました。学校の体育館は夏場、とても暑く、体育の授業や体育館での集会は地獄そのものでした。しかし、エアコンが設置されたことにより、私たちの生活は快適なものへと一変しました。私は「エアコンを一台設置するだけでもすごいお金がかかるのに、どこからお金を出して、体育館に設置しているのだろう」と疑問に思いました。そこで、父に聞いてみると、税金によって設置されたものだということを教わりました。私は今まで、税金といえば消費税くらいしか知らなかったのですが、それ以外のことでどのような使われ方がされているのか知りたくなりました。そこで、私は特に教育の面での税金の使い道についてくわしく調べてみることに

しました。

皆さんは国が負担している中学生一年間の教育費はどのくらいの額にあたると思いますか。なんと、一人あたり約九十七万九千円が税金によって支払われているそうです。教育費の中の四割以上は教科書、黒板、机、理科室の実験器具などの学校環境の設備に使われていることがわかりました。学校の中にあるだいたいの物が税金によって作られているのです。また、千葉県では高等学校等就学支援金制度や減免制度、私立高校授業料の実質無償化、多子世帯の大学無償化など、私たち学生のために様々な政策がとられていました。特に、減免制度は千葉県独自のものであり、経済的な理由で授業料を納入することが難しい場合に、一部または全額が免除されるのです。このような政策があるおかげで金銭的な理由で進学できない人などが減り、より多く

の人が充実した教育を受けられるようになっていくのだと思いました。

私は今まで、「なんで税金なんて払わなければならぬのだろう」と疑問に思っていました。しかし、税について調べてみたことで、税は教育の面ではもちろん、他にも様々な面で私たちの生活をより豊かにするために活用されているということがわかりました。これからは、私たちのために税金を納めてくれている人たちへの感謝の気持ちを持って、今まで以上に真剣に勉強していきたいと思いました。これからも未来の大人たちのためにたくさん投資するような社会であってほしいと思います。